

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 肺癌術後肺転移に対する手術症例の検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 吉井直子（呼吸器外科・医師）

[研究の概要]

■ 目的・方法（研究期間も含む）

研究期間：実施承認後～2020年12月末

目的：肺癌術後に認められた孤立性結節は、第2癌と肺転移の鑑別が画像所見のみでは困難な場合があります。肺転移の場合、転移巣が少数個のoligometastasisの状況であれば局所治療を加えることで予後延長の可能性や分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬の使用などが治療選択肢となってきます。今回、当科の肺癌術後肺転移手術症例の患者背景、予後を調査し、手術治療の有効性について評価します。

方法：診療録を用いた後ろ向き研究

■ 対象となる患者さん

2001年1月～2016年12月までに当院で肺癌の手術を受けた方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、臨床病期、腫瘍マーカー等の血液検査結果、画像検査結果、肺機能検査等の生理検査、肺癌手術の病理結果報告書、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

呼吸器外科 吉井直子

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971